

令和8年度向け

入学のてびき



サンフランシスコ日本語補習校
中高部サンフランシスコ校

は じ め に

六年生の皆さん、3月には、サンフランシスコ日本語補習校幼小部を卒業ですね。

中高部へ進学し日本語による学習を継続しようと考えている人がたくさんいると思います。中高部では皆さんの入学をお待ちしているとともに、皆さんが今まで努力し培^{つちか}ってきた力を発揮して充実した中高部での学習・学校生活を期待しています。

中高部では学習内容や、学校生活のきまりが小学部とは違います。この冊子では、説明会でお話ししたような、その違いと、中学校に通学する心構えをお話しします。

中学生として成長して行くために、皆さんに頭に入れて十分理解しておいて欲しいことが幾^{いく}つかあります。

まず、補習校に通う目的をはっきりさせて通学することです。

「なぜ・なんのために」という目的しっかりもつことです。その目的が定まっていないと、学年が上がれば上がるほど最後までやり通すことは困難になります。毎週土曜日に通学して何を得るのか、何のために補習校で時間を過ごして、授業を受けるのか、その意義をしっかりと念頭に入れてください。あくまでも学校は学習の場であることを忘れないで欲しいと思います。

次に、日本語補習校は「日本語で」学習する学校で、「日本語を」習う学校ではありません。ですから日本語で授業を受け、日本語で考えることができるということが大前提です。補習校での学習は授業中だけのものではありません。学校生活や様々な行事を通して学校という社会の中で相手のことを認め、他の人と協力することを学び、自分を伸ばしていきます。その中で日本の文化や考え方を学ぶのです。そのためには補習校にいるあいだは日本語を使うということが非常に大切になってきます。「英語の方が得意だ。」という人は数多くいることでしょう。だからこそ日本語を使う努力が必要なのです。

最後に、おうちの方と皆さんの補習校に通うことについての意識を同じにすることです。補習校へ通うについてはこれが一番大切なことかもしれません。「本当は行きたくないけれど、お父さん、お母さんが行きなさいと言うからしかたなく来ている。」と言う人がいます。これは大きな障害となります。中学入学についてはおうちの方と良く話し合い、お互い^{たが}が理解・納得して決めてください。中学では、前にも述べた「目的」をしっかり持つということが大切です。人に決めてもらうのではなく、自分で考え、決断し、行動できるようになってください。

この手引きをおうちの方と一緒に^{いっしょ}良く読み、しっかりと中高部進学について考えて、自分で決断して欲しいと思います。中高部サンフランシスコ校では自分で考え、決断でき、そして希望に満ちた皆さんを待っています！

1. 中 学 校 で の 学 習 内 容

中高部では、次のように授業を行っています。

(1) 教科によって担当の先生がかわります。

- ・ 1日5時間授業で、各授業は50分です。
- ・ 「算数」は教科名が変わり「数学」となります。国語と数学は各2時間。
- ・ 社会科・理科は1時間。年度途中で教科が変わります。
- ・ 国語科、数学科では副教材として漢字学習ノート、ワークブックなどを使用します。

(2) 1年間に2回の定期テストがあります。

- ・ 前期と後期にそれぞれ期末テストがあります。

(3) 成績は5段階で評価され、年度末に通知表で家庭に通知されます。

(3) 中学部の学習は、小学部の学習が土台になっています。

(4) 各教科、読むこと、書くこと、発表することを中心に授業を進めます。

(5) 授業でわからない時は、進んで質問することが大切です。

(6) 毎週宿題が出ます。計画的な家庭学習が大切です。

2. 中 高 部 時 程 表

令和7年度

内 容	時 間	備 考
登校時間	～ 8 : 3 5	35分には朝会場所にいること。 おく 遅れそうな場合は、急ぎ足で！
全体朝会	8 : 3 5 ～ 8 : 4 5	大切な連絡事項や、学級活動があります。 おく 遅れないように登校してください。
学 活	8 : 4 5 ～ 9 : 0 0	
1 校 時	9 : 0 0 ～ 9 : 5 0	
2 校 時	9 : 5 5 ～ 1 0 : 4 5	
3 校 時	1 0 : 5 0 ～ 1 1 : 4 0	
昼休み（清掃を含む ^{ふく} ）	1 1 : 4 0 ～ 1 2 : 4 0	生徒会等委員会・同好会活動時間
読書時間	1 2 : 4 0 ～ 1 2 : 5 0	静かに読書をします。
4 校 時	1 2 : 5 0 ～ 1 : 4 0	
5 校 時	1 : 4 5 ～ 2 : 3 5	
振り返りタイム	2 : 4 0 ～ 3 : 0 0	
帰りのクラス学活	3 : 0 0 ～ 3 : 1 0	
下 校	3 : 1 0 ～	

ご家庭へのお願い

「全体朝会」も「学級の朝学活」も、とても大切な補習校活動です。ちこく遅刻のないよう、お子様が8時35分には、朝礼場所に到着できるよう余裕^{よゆう}を持ってお送りください。

3. 学 習 ・ 生 活 の き ま り

日本語補習校小学部では小学部のきまりがあるように、中高部でも中高部としてのきまりがあります。そのきまりは日本の学校で定められている標準的なきまりと大きく違うわけではありません。学校生活をおくる上で必要な基本的なルールです。サンフランシスコ校・サンノゼ校共通の基本的なきまりがありますが、それぞれの環境に合わせた各校独自のきまりもあります。入学時には各自がこれらのきまりを読んで、それを守ることを約束するという生徒が署名した誓約書^{せいやくしょ}を提出します。

(1) 学 習 の き ま り

学習というのはそれぞれに目標を決め、その目標達成に向かって努力して行くことが非常に大切です。皆さんは月曜日から金曜日まで現地校では英語で学習をし、土曜日1日は日本語で学習しています。これは特殊^{とくしゅ}なことでもありますし、大変努力を要することだと思います。土曜日にも努力をして日本語を通じて日本の学習、文化などを学ぼうとしている皆さんはすばらしいと思います。

一般的には集団で学習した方が一層効果のある場合が多いといわれています。なぜなら集団の中で他人の考え方や、行動の仕方を見たりきいたりすることから自分だけでは経験できない多くのことを学び取ることができるからです。しかし、その集団の学習に対する意識がバラバラで、学ぼうという人たちの姿勢が、そうではない人たちに妨げられてはなんにもなりません。みんなが学習に対する意欲・姿勢を意識できるように、学習中のきまりを守って授業に集中してください。

そして、せっかくの土曜日を充実したものとして、何かを得て帰って欲しいと思います。

学 習 の き ま り (中高部)

各自、日本語補習校で学ぶ目的をしっかりと持ち、自分のためになる授業にしていける。また授業中、休み時間を問わず学校では日本語を使用することが絶対の前提です。
(なぜ・なんのために日本語補習校に通ってくるのかをはっきりさせて、授業に臨むこと)

〔日本国内の標準的な規則に基づいた日本語補習校の規則です〕

1. 授業終了時、机の上に次の授業の教科書・ノートを用意する。
◎授業に関係ないものは、机に出しておかない。
2. 当番は黒板・ホワイトボードを常にきれいにしておく。
3. 授業の始め、終わりは当番が前に出て「起立、気をつけ、礼」の号令をかけ、あいさつをきちんとする。
4. 授業中は姿勢を正し、指名されたら「ハイ」という返事をする。
5. 自分の意見を述べる時、質問等に答える時は、静かに挙手をして、教師の指示に従う。
6. 先生や級友の言うことを、最後までしっかり聞くようにする。
7. 私語等は慎み、授業に関係のないことは絶対にしない。
8. 授業を真剣に受け、他の人の妨げにならないようにする。
9. 授業に遅れた時には、入室する時にその理由を先生に話す。
10. 授業中にトイレ・保健室に行く時は、教科担当の先生の許可を得て、許可証を持っていく。
11. わからないことは、進んで質問するように心掛ける。
12. 大切なこと・板書はノートにきちんと記録しておく。
13. 忘れ物をしないように注意する。忘れた時は担任（教科）に連絡する。
14. 携帯電話、iPad 等の電子機器はゲートで電源を切り、ヘッドフォン、イヤフォン等と共にバックパックにしまう。

※授業と授業の間の休み時間は、遊びの時間ではなく次の時間の学習の準備をするためのものです。トイレ・大事な用事以外は、教室を出ないで次の時間の用意をすること。
休み時間は、特に教室の備品等の取り扱いには注意すること。

(2) 生活のきまり

学校はひとつの小さな社会です。皆さんはその社会の一員として学校生活を送っています。そしてその社会には、一人一人が満足した楽しい生活を送れるように生活のきまりがあります。一人一人がそれぞれ別々のルールに基づいて勝手な生活をしていたのでは集団が成り立たなくなってしまうです。そのために学校生活のきまりがつくられています。この生活のきまりの中には、守られなければ現地校校舎が借用できなくなり、補習校自体の存続に関わってくる大切なものもあります。皆さん方全員が中学生としての自覚を持って、きまりを守り、節度ある学校生活を送ってください。

たくさんのきまりがあって窮屈きゆうくつに思われるかもしれません。しかし、みんなが本当に楽しいと思える学校を創るためには、その楽しさを守っていくためのルールが必要なのです。

生活のきまり（中高部）

日本語補習校では、限られた諸条件の中にあって、より豊かな学校生活の維持、向上を図るために次の生活のきまりが設けられています。

1. 挨拶・日本語使用についての基本的なきまりです。

(1) 補習校は「日本語で」学習する学校です。学校では授業中、授業外を問わず日本語で話す。英語は使用しない。

(2) 先生方、来校の保護者他来客にはきちんと声を出して挨拶する。

(3) 職員室、事務・看護室入室の際は、「失礼します。〇年〇組の〇〇です。」と挨拶し、用件を言ってから入る。退室の時は「失礼しました。」と言って退室する。勝手に入室して先生方の席からものを取らず、職員室にいる先生方の指示に従う。

2. 借用校との事前の同意を条件に、教室使用が認められています。この事前の同意には、様々な教室使用の約束が盛り込まれています。したがって、これからの借用が保証されていくためにも次の約束を守っていかなければなりません。

(1) 建物内外の現地校教師・生徒の品物、掲示物、備品には絶対に手を触れない。

(2) 机、いす、壁などには絶対に落書きをしない。

(3) 教室内での遊び、飲食は絶対にしない。飲食は昼休み、所定の場所のみとする。ゴミは、決められたゴミ箱に分別して捨てる。下校時も迎えの車に乗るまで飲食は禁止。

(4) 授業中の飲料水は各教科担任の指示に従い、許可された場合、水に限り許される。水以外の飲み物、お茶、ジュース、ソーダなどは一切禁止。

(5) 業間の休み時間は、次の授業の準備、トイレのための休みで遊び時間ではないので廊下などで遊ばない。また授業のあとは、終わりの挨拶をし、次の授業の教室に移動する。

(6) 昼休みはヤードで過ごし、教室内（廊下やホール、など）で遊ばない。

(7) 昼休みにヤードに出る際は、花壇に踏み込まないこと。

(8) 授業開始のベルが鳴る前に教室に戻り、着席して授業の準備をする。

(9) 校庭、教室を汚さない。（落ちているゴミ、自分で出したゴミの処理など、常に借りている学校内の美化に気をつける。）

(10) 机、いす等を移動した場合は、必ず元の場所に戻しておく。

(11) 身の回りを点検し、学習用具・衣服・弁当箱等を置き忘れない。

3. 借用施設の関係でいろいろな活動が制限されています。また、昼食時のスポーツ活動

も制限されています。安全の上からも次の約束を守ってください。

(1) ボールは家庭から持ってこない。学校のボールを使用する。

(ボールは球技大会の種目の範囲^{はんい}内で学校が用意します。)

(2) スポーツ施設^{しせつ}以外でのスポーツ活動はしない。(危険^{しせつ}、施設破損防止のため)

(3) ボールを借りる場合、貸し出しノートに**借りた者**が名前、クラスを記入し、使用後は**借りた者**が責任を持って返却する。返却時も名前を記入する。ボールなどを破損、紛失したときは、自己責任で弁償する。

4. 集団による充実した学習及び学校生活を営むためには、他人に迷惑^{めいわく}をかけないこと等、自覚と節度ある行動が必要となってきます。次の約束は基本的なものです。

(1) 学習に関係のない物品（オーディオ機器、ゲームなど）・多額のお金・貴重品・危険物（ガン・ナイフ・及びその類似品等）等は持参しない。これらの物品を持ってきたり、授業中に使用したりするなど、きまりが守れない場合は、これらの物品を学校が一時預かり、所定の方法で処置する。ただし日本の雑誌、日本の漫画^{まんが}、トランプに限り、昼休みのみ、使用を許可する。

＊ 預かり物品の保管と処置

- ・ 物品は一時預かり、悪質であり、反省の見られないときは、保護者の依頼^{いらい}（署名）により本人に返却する。
- ・ 度重なる場合は、一時預かった物品は、保護者を通じ返却する。返却依頼^{いらい}がない場合は、処分する。
- ・ 危険物を所持していた場合は州の法律に準じた処置をする。

(2) 携帯電話^{けいたい}はゲートで電源を切り、バックパックにしまっておく。また下校時は校舎の外に出るまで電源を入れない。

- ・ 保護者に緊急の連絡が必要なときは、職員室で許可を得てから電話する。
- ・ 許可を得て職員室使用する以外、携帯電話^{けいたい}の使用は禁止。昼休みの使用も認めない。

(3) 欠席^{ちこく}、遅刻^{ちこく}、早退は、事前に届をポータルで担任に提出する。

遅刻^{ちこく}、早退の場合の出入りは**保護者**とともに職員室で氏名、理由をノートに記入の上行う。保護者への受け渡し^{わた}は職員室で行う。

また下校時、3時25分までに迎えがない場合、図書室で待機し、受け渡し^{わた}は職員室で行う。

(4)登校後、許可ある場合を除いて、活動場所（指定教室、トイレなどの校舎内）外に出てはいけない。

(5)学校建物（窓ガラス・壁等）・器材を破損した場合は必ず報告し、適切な指導をうける。破損した物品・器材については、原則として当事者の実費負担とする。

5. 目的をしっかり持ち、自分のためになる授業にしていきたいというのは、お互いの願いです。

この願いは、お互い尊重されなければなりません。次の約束は、秩序正しい授業のための基本的なものです。

(1)授業に遅れた場合は、入室するときにその理由を教科担任に告げる。

(2)授業中教室を離れるときは、教科担任の許可を得、許可証を持っていく。

(3)私語、許可なく歩き回ること、授業に関係のないこと、他の人の妨げになることはしない。

(4)授業中に出たゴミは、授業が終わってから捨てに行く。

6. 生徒自身の運転による自動車通学・自転車通学は禁止しています。

7. 上記のきまりが守れない生徒に対しては、本人が責任を負う形で指導をしていきます。

その手順は、以下のとおりです。

(1)きまりに違反した生徒は担任及び他の先生の指導（事後処理及び反省、今後の方向等）を受ける。また、保護者に連絡する。

(2)度重なる生徒は、次のいずれかの方法で指導する。

・保護者にも学校・事務局に来てもらい、生徒とともに面談をし、指導の方向を決定する。

・校長（教頭）等と面談し、懲戒（訓告・停学等）を含め指導の方向を決定する。

(3)再三注意されてもきまりが守れない生徒、または重大な問題行動をおこした生徒には、保護者とも相談のうえ、校長が別途規定により懲戒（停学・退学）も含め処分の方
方向を決定する。

8. ビジターについて

本校の転学者・卒業生・修了生で、帰国・転居等のあいさつなど、理由が明確な者。原則として、事前に事務局を通して許可を受ける。時間は、特別の場合を除き、昼休みのみとする。

4. 委員会活動について

中高部では行事、学校での活動などは基本的に保護者の助けを借りずに、生徒自身で運営します。そのために委員会が設置されており、活動内容に応じて委員会が中心となって行われます。

生徒会

生徒会は、中学1年生から高校2年生までの中高部生徒全員で構成されています。自分たちの生活を自主的に、そして主体的に向上させるために活動します。生徒会に属する委員会は次のようなものです。

<生徒会役員会>

会長ほか中高生数名の役員で構成されています。生徒会はみんなの学校生活が楽しくなるように、行事を工夫したり、生活の中で足りないところを見つけ出して取り組んだりして行きます。しかし生徒全員で話し合うのは大変なので、生徒会役員を選挙で選び、彼らに基本的な企画作成運営などを生徒代表として行ってもらいます。

<学校生活委員会>

各学級で選出された学級委員が生徒会役員会に招集された委員会会議に出席します。生徒会の決議事項をクラスに伝達し、クラスの意見を生徒会に持って行くクラス代表の委員会です。また図書関係の活動も行います。

<体育行事委員会>

球技大会の計画を立てたり、実行のお手伝いをしたりする委員会です。また年間を通して体育的なイベントを企画・実行します。

5. 中高部サンフランシスコ校行事

中高部では以下のように小学部とは少々違った行事を行っています。これらの行事は企画・立案・運営と生徒（生徒会）主体で行われます。

<球技大会>

中高部の体育的行事は球技大会です。毎年2種目を各クラス男女別のチームをつくり、リーグ戦を行います。ここ数年の種目はバスケットボールとドッジボールでした。球技大会前に球技大会委員会を立ち上げ、その委員会中心で計画されます。

<ビブリオバトル>

自分で読んで人にも紹介したいと思う本をクラスで紹介し、チャンプになった本は購入し、図書館に入れられます。

<文化祭>

生徒会が中心となり文化祭が行われます。毎年テーマに沿って、各学級がステージ発表などを行っています。その他、有志による音楽演奏やダンスなどの発表もあります。クラスが一つの目標に向かって何かを作り上げて行く楽しい行事です。

<同好会活動>

その他に、同好会活動や生徒会が主催する活動もあります。できるだけ生徒が自主的に作り上げる行事を目指しています。現在、以下の同好会があります。

- ・漫画・アニメ同好会
- ・ダンスボーカル同好会
- ・シン・オーケ同好会

6. 入 学 試 験 ま で

皆さん、中高部の概要を理解できましたか。では、中学部に入学するまで、どんなことを準備するのかお話しします。

中学部の学習は、各教科とも小学部で学習したことをより深く勉強して行くものです。時には、これまでまったく知らなかったようなことも学習します。しかし、これらはすべて小学部での学習が基になっており、中学部の先生方も皆さんが小学部での学習が身に付いているということを前提として授業をしています。最初のうちは、小学部で学習したことを思い出しながらの学習が多いです。ですから、小学部での学習内容がしっかりと身に付いていれば、中学部で新しいことに取り組んでもすぐに理解ができるようになります。

では、今皆さんが中学部での学習に備えておくことは何でしょう。

それは、小学校での学習を復習することです。しっかり復習をして、中学部の学習に備えてください。小学校6年生の国語の教科書を繰り返し読むこともよい方法です。

さあ、今日から、小学部卒業までの一日一日を有効に過ごし、中学部での学習に備えましょう。

登校/下校時間・遅刻について

登下校の方法についても、幼小部とは違いますので注意してください。

<登校時間>

中高部の登校時間は 8 時 35 分までです（令和 7 年 1 2 月現在）。登校したら校舎前のヤードに集合します。8 時 35 分から朝会が始まります。朝会后、各学級の担任の先生の引率でそれぞれの教室へ移動します。また補習校は保護者、あるいは保護者が許可した大人による送迎が基本です。生徒だけで公共の交通機関を使用しての登下校は禁止されています。

<遅刻について>

朝会開始の 8 時 35 分までに朝会場所にいない場合は、遅刻と見なされます。遅刻者は朝会では、学級の列ではなく遅刻者の列に整列します。この遅刻が 3 回になったら、担任の先生からご家庭に注意の連絡が入ります。また、遅刻が 7 回になったら学校から注意喚起を促す手紙が渡されます。その手紙に保護者の方が署名をして学校に提出します。また、このとき遅刻理由と今後の目標も書きます。いろいろな事情があつて遅刻をしてしまうことがあると思います。しかし、そうならないように注意して登校してください。さらに遅刻が続いた場合、主幹との面談、そして保護者に学校に来ていただくことになります。

朝会は、全校の生徒、先生方が集まり、1 日を通しての、あるいは生徒会からの連絡事項をみんなで確認して 1 日を始める大切な時間だと考えています。遅刻をしないように気を付けてください。

その他に現地校に関係することなどで遅刻して登校する場合は「生活のきまり」にある手順に従ってください。

<遅刻・早退のサインについて>

朝会以後の遅刻の場合は、必ず保護者と生徒と一緒に職員室まで来てサインをしなければ教室には入れません。

早退する場合も、保護者が職員室でサインをし、こちらで生徒を職員室まで連れてきます。

<下校時間>

中高部の下校時間は 3 時 10 分（令和 7 年 1 2 月現在）です。校門前でピックアップとなります。3 時 25 分になっても迎えがない場合は、校舎内（図書室）で待機することになります。その際はお迎えの方に図書室まで来ていただき、職員室で確認して受け渡しとなります。

送迎時についてのお願い

保護者の皆様には、生徒の送迎時の安全確保に、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。下記の注意事項にご留意いただき、安全な送迎をお願いいたします。

中高部サンフランシスコ校の所在地

Lowell High School
1101 Eucalyptus Dr.
San Francisco, CA 94132

中高部電話（土曜日のみ）(415)990-5087

【諸注意事項】

- 所定の路上でドロップオフして、徒歩で校門まで送迎をお願いします。くれぐれもルールを守り近隣住民への配慮をお願いします。
- バス停前での乗降車は禁止です。
- ダブルパーキングは、たとえ運転者が乗車していても禁止です。ダブルパーキングでのドロップオフも禁止です。
- 交差点内では乗降及び駐停車は禁止です。
- Uターンはしないでください。
- クラクションは鳴らさないようにしてください。
- 交差点では、必ず横断歩道を通ってください。

